

北部コミセン通信

北の湯再開しました

岩手緊急事態宣言の発令を受けて、1月末からお休みしていた北の湯が6月3日（金）に再開しました。4か月余りのお休みで、利用者の皆様にはご不便をおかけしましたが、宣言が解除されたことによるものです。

宣言が解除され、北の湯再開が市から伝えられると、澤田所長が利用者へ「3日から！」電話をかけまくった。「みんな喜んでいいる！」と嬉しそう。この間に止めていたスポーツ新聞と週刊誌も復活。暖簾もクリーニングに出しきれなくなった。



ロビーに賑わいが戻りました

再開当日。

「連絡ありがとう」と事務室に声をかけてくれ嬉々とした表情で北の湯に向かう皆さん。

この間、静まり返っていた

たロビーは、笑顔と笑い声に包まれ「久しぶりです！」の声飛び交います。ゆっくり入浴してきた利用者さんの「やっぱりいいなあ！」「さっぱりした」という声には、再開を待ちわびていた実感がこもっていました。入浴後の雑談にも花が咲いていました。

この日は金曜日。北の湯健康相談も再開し、鎌田看護師の声が明るく弾んでいました。

北の湯の清掃を受託しているみのりホームのメンバーは、再開を前に作業開始でした。隅々まできれいにして、気持ちよく入浴して欲しいとの思いからです。

コロナ対策で入浴前後のマスク着用や、検温、人数制限など制約はありますが、北部コミセンの魅力の一つである北の湯に日常が戻ってきました。

北の湯から3つお願い

①入浴人数の制限

「密」を避けるため、同時に入浴する人数は4人までに制限しています。

②適度な距離

入浴前後はロビーにて他の利用者との距離を空けてお座りください。

③マスクの着用・検温

入浴前後は、マスクの着用をお願いします。また来館時の体温測定にご協力ください。

「親子サロン」も再開

感染防止対策でお休みしていた北部地区「親子サロン」も、6月から再開しました。どうぞご利用ください。

お子さんとその保護者を対象に、お喋りの輪の中から、子育てのヒントや仲間を見つけてもらうという、滝沢市社会福祉協議会主催の「親子サロン」が、北部コミセンの談話室で月2回開かれています。

毎回数組の親子がやってきて、おもちゃに夢中の子供たちのかたわらで親同士や経験豊かなスタッフとの間で子育ての話が弾んでいきます。時にはおやつ作りなどにも挑戦です。継続する中で新しく参加する親子も増えてきて、北部地区にも親子サロンが浸透してきているようです。ぜひ気軽に遊びに来てください。



◇毎月第1・第3火曜日

午前10時～11時30分

◇お問い合わせは滝沢市社会福祉協議会まで

☎684・1110



北の湯日記

〇月〇日 晴れ

5月の快晴のある日、県北軽米町のフオリストパークのチューリップ園に出向いた。自主事業「北部写真愛好家サロンの撮影会である。参加者7名。

チューリップの見頃は終盤に差しかかっていたが、品種によつては今が盛りどころもあり、十分撮影を楽しんだ。



二日前にチューリップ祭りが終わっていたため人が少なく、おまけに入場は無料。

道の駅で美味しい昼食を食べ、一戸町で「藤島のフジ」や茅葺き古民家を見学して産直で面白い物と、賑やかで楽しい撮影会となった。

〇月〇日 晴れ

北の湯が再開した。

実に4か月余の休業だった。週2回の北の湯がないと利用者の出入りもなく、みのりホーム

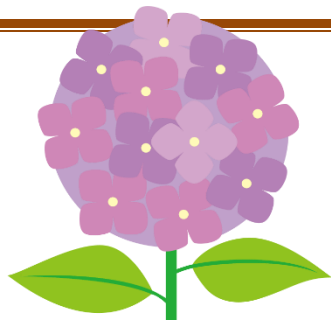
の清掃作業もない。ガラんとしたロビーが寂しかった。

連日県内の感染者が3桁続き「こりや当分再開は無理だよな」とため息をついてると、突然「非常事態宣言が週明けに解除の方向」というニュースが飛び込んできたのだった。

再開を喜ぶ常連さんがしみじみと「北の湯はお風呂だけじゃないんだよね。北部コミセンに出かけてきて、血圧を測ってもらって、ゆっくりお風呂に入って、ロビーでみんなとお喋りを楽しんで。そういう一つ一つが大切なんだよね。」と。北の湯への想いが感じられる言葉だった。再開できて本当に良かった。(塩田)



今年も一本木中ボランティア委員会の皆さんが、可憐な花のプランターを届けてくださいました。玄関を彩ってくれています。ありがとうございます。



ぼやき川柳 (NHKラジオ 関西発ラジオ深夜便) 第1・2・3金曜日 23:05~

☆ゴミ出したついで昼まで立ち話
☆カサカサの肌見て庭の花に水

さっぱりしましょ

北の湯

介護予防施設
毎週火・金曜日 午後1時~6時
(6月~8月は6時まで)
無料 概ね65歳以上の滝沢市民対象

北の湯開設日	★健康相談日
★6月14日(火)	6月17日(金)
6月21日(火)	★6月24日(金)
6月28日(火)	★7月1日(金)
7月5日(火)	★7月8日(金)
7月12日(火)	★7月15日(金)